

令和 6 年度第 2 回 平塚市防災会議

報告事項





報告事項

- 1 近年の災害について
- 2 防災訓練の取組状況
- 3 その他取扱状況

1 近年の災害について



(1) 令和6年能登半島地震

【職員派遣】

① 消防庁長官の緊急消防援助隊出動指示に基づく**緊急消防援助隊** (神奈川県緊急消防援助隊)

期 間	第1次派遣	1月 9日～13日	8名
	第2次派遣	1月12日～16日	8名
	第3次派遣	1月15日～19日	8名
	第4次派遣	1月18日～22日	8名
	第5次派遣①	1月21日～25日	4名
	②	1月24日～25日	4名
			計 40名

場 所：石川県輪島市

活動内容：搜索救助等

② **DMAT（災害派遣医療チーム）**

期 間：第5次隊
1月11日 出発 13日～17日 活動

場 所：珠洲市健康増進センターに参集後、能登
半島の被災地で活動

出動チーム：医師1名、看護師2名、放射線技師1名

合計 4名

出動車両：平塚市民病院DMAT車 1台

活動内容：人命救助等

③ 厚生労働省の要請により神奈川県が

取りまとめる**保健師チーム**

期 間：第3陣 1月26日～31日 1名

場 所：石川県珠洲市

活動内容：健康増進センターにて在宅避難者の健康状態把握と健康相談

④ 総務省の「応急対策職員派遣制度」に基づき

神奈川県と合同で派遣する応援職員 計 27名

陣数	期間	人数	業務内容
第3陣	1月19日～ 1月26日	1名	連絡調整（物資拠点）
第5陣	2月 2日～ 2月9日	2名	物資拠点、り災証明発行
第6陣	①2月 9日～ 2月16日	1名	物資拠点
	②2月11日～ 2月18日	1名	被害認定調査支援
第7陣	2月16日～ 2月23日	2名	物資拠点、り災証明発行
第8陣	2月23日～ 3月1日	2名	物資拠点、避難所支援
第9陣	3月1日～3月8日	6名	物資拠点、り災証明発行
第10陣	3月8日～ 3月15日	6名	連絡調整（物資拠点）、物資拠点、 避難所支援、り災証明発行
第11陣	3月15日～ 3月22日	4名	り災証明発行、物資拠点
第12陣	3月22日～ 3月29日	2名	り災証明発行、物資拠点

合計 72名

1 近年の災害について



(1) 令和6年能登半島地震 【教訓等を踏まえた本市の取組】

□ 地域防災計画の改訂

□ 資機材等の充実

- ・トイレ環境の充実（マンホールトイレ、携帯トイレ）
- ・水確保策の充実（組立式受水槽の購入）
- ・口腔ケア用品の配備、女性の立場にたった備蓄品の拡充
- ・避難所関連備品の拡充（ポータブルバッテリー、キーボックス、毛布リパック、簡易ベッド）



□ 防災知識の普及啓発



1 近年の災害について



(2) 日向灘を震源とする地震に伴う

南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）

日	時刻	事象	本市の対応
8/8 (木)	16:43	日向灘を震源とするM7.1の地震が発生 震度6弱：宮崎県日南市	
	17:00	南海トラフ地震臨時情報（調査中）の発表	災害対策課職員が待機し、今後の対応を検討
	19:15	南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意） の発表	地震災害警戒本部を設置
	21:00		第1回地震災害警戒本部会議を開催
	22:23		市長メッセージの発信
8/9 (金)			湘南ひらつかビーチパーク海水浴場の遊泳禁止措置
	13:00		第2回地震災害警戒本部会議を開催
8/15 (木)	17:00	南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意） に伴う特別な注意の呼びかけ終了	
	17:30		市長メッセージを発信

1 近年の災害について



(3) 神奈川県西部を震源とした地震

日	時刻	事象	本市の対応
8/9 (金)	19:57	神奈川県西部を震源とするM5.3の地震が発生 震度5弱：厚木市、中井町、松田町、清川村 震度4：平塚市、小田原市、茅ヶ崎市 他	- 災害対策職員が参集し情報収集 - J R東海道線の運転見合わせに伴い、帰宅困難者対応班が待機し対応準備

- ・南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表されている中での地震
- ・気象庁発表の推計震度分布では平塚市内にも震度5弱が推計
- ・市内に大きな被害はなし



【氣象概況】

アメダス平塚では、8月30日の日降水量、12時間雨量及び9月1日までの72時間雨量が観測史上最大となった。

○アメダス積算降水量分布図（8月29日06時～9月2日12時）



1 近年の災害について



（４）令和６年台風第１０号に伴う大雨

【被害概要】

被害状況		
人的被害	軽傷 ２名	
建物被害	全壊	１棟
	半壊	３０棟
	床上浸水	７２棟
	床下浸水	１８００棟
崖崩れ	４７件	
道路被害等	通行止め	１４箇所
	道路被害	４件



×より引用



1 近年の災害について



(4) 令和6年台風第10号に伴う大雨

【本市の対応】避難情報発令・避難所

日	時刻	気象情報等	本市の対応
8/29 (木)	18:10	発表：土砂災害警戒情報	
	19:00		レベル4 避難指示（土砂災害）を発令 発令地区：出縄、万田、高根、山下1丁目、山下3丁目、根坂間、公所、日向岡2丁目、土屋、上吉沢、下吉沢、めぐみが丘、南金目、千須谷、片岡、広川、真田4丁目、岡崎、城所 開設避難場所：土屋公民館、吉沢公民館、金目公民館、岡崎公民館、城島公民館、旭北公民館、旭南公民館の各地区公民館。
	0:11	発表：大雨警報（浸水害）	
	0:21	発表：洪水警報	
8/30 (金)	2:36	相模川の水位が上昇し、内水氾濫の危険性を高まる	レベル4 避難指示（内水氾濫）を発令 発令地域：四之宮3丁目、四之宮4丁目、四之宮5丁目、四之宮7丁目、田村7丁目、田村8丁目、田村9丁目、大神 開設避難場所：神田公民館、四之宮公民館、大神公民館を開設
	6:47	河内川の水位が上昇し氾濫の危険性が高まる	レベル4 避難指示（河内川氾濫の恐れ）を発令 発令地域：山下1丁目、山下2丁目、徳延
	7:00		災害対策本部設置

1 近年の災害について



(4) 令和6年台風第10号に伴う大雨

【本市の対応】 主な応急対策

□消防団

- ・河川水位のパトロール
- ・増水による浸水リスクが急激に高まった地域へは消防車両による広報を実施
- ・道路冠水した箇所の交通整理

□避難対応

- ・土砂災害に対して地区公民館7か所(土屋、吉沢、金目、岡崎、城島、旭北、旭南)
- ・相模川の増水による内水氾濫に対して、地区公民館3か所(四之宮、神田、大神)
- ・最大避難者数は16人(8月30日(金)4時) 総避難者数 60人

1 近年の災害について

(4) 令和6年台風第10号に伴う大雨

【本市の対応】 主な応急対策

□罹災証明書の発行

- ・被害状況を元に翌日の9月2日から調査を開始

□各種被災者支援

- ・罹災証明書の申請や各種支援のチラシ配布
- ・臨時相談窓口の開設
- ・罹災ごみの収集運搬、処理
- ・各種減免等

□災害ボランティアセンターの設置

- ・平塚市社会福祉協議会との協定により災害ボランティアセンターを開設

設置期間	令和6年9月4日から令和6年10月31日まで
対応件数	派遣先12件 対応したボランティア延べ172人
活動内容	災害廃棄物（家財等）・土砂の撤去、家屋内の片付け、床下乾燥

1 近年の災害について



(4) 令和6年台風第10号に伴う大雨

【その他の対応】

□河川整備の緊急要望

金目川水系の治水事業の更なる加速化の推進について緊急要望を実施

- ・ 9月 副市長が平塚土木事務所長
- ・ 11月 市長が県土整備局長

□浸水対策

- ・ 浸水対策を進めるため雨水ますの増設やグレーチング蓋を改修

2 防災訓練の取組状況



(1) 庁内訓練等の取組

過去の災害における各種課題や令和6年能登半島地震での教訓等を踏まえ、災害対策本部の対応力強化に取り組んでいます。

□災害対策本部 災害対策戦略室訓練（図上訓練）

第1回：令和6年7月17日（水）

訓練想定：地震

実施方法：地震発生から3時間後の各種対応を①指導型訓練②状況付与型訓練と2回同じ場面を実施

訓練成果：2回同じ場面を実施したことで、参加職員が取組事項を理解しながら訓練に参加することができた



2 防災訓練の取組状況



□災害対策本部 災害対策戦略室訓練（図上訓練）

第2回 ： 令和7年2月5日（水）

訓練想定：地震

実施方法：地震発生から2時間後までの各種対応を参加者へ想定を明かさないうらい
ンド型訓練を実施

訓練成果：地震発生後の戦略室設営から津波に対する避難指示の発令、人命に関する
各種対応をブラインド訓練ながら迅速かつ適正に対応できた。

第1回目目の訓練成果及び訓練に向けた事前準備の取組により対応力強化が
図られている。



2 防災訓練の取組状況



□大規模地震時医療活動訓練

実施日　：令和6年9月27日（金）、28日（土）

訓練想定：地震（都心南部直下地震）

実施概要：内閣府主催の国、県、災害拠点病院等の関係者が全国から参加する訓練。
神奈川県では

- ①県内の災害医療体制の確認
- ②福祉部門と災害医療部門の連携
- ③DMAT等の医療支援訓練
- ④ライフライン支援訓練を重点事項として実施。

参加者　：平塚保健福祉事務所、平塚市医師会、協定事業者

本部班（災対課）、医療救護班（健康こども部）、避難行動要支援者班（福祉部）、病院部（平塚市民病院）

2 防災訓練の取組状況



□大規模地震時医療活動訓練

訓練内容：市庁舎と平塚市民病院の2カ所で参加

市庁舎では災害対策戦略室で本部班、医療救護班及び避難行動要支援者班が医療・福祉対策を実施

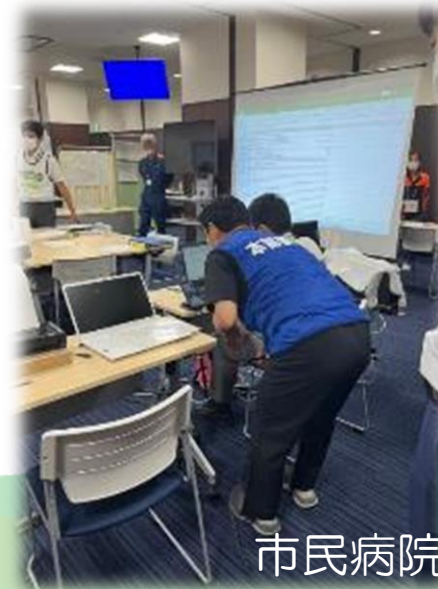
平塚市民病院では、トリアージや救急医療、市民病院災害対策本部運営、DMAT連携を実施

医療救護班・市民病院の連携



常時ウェブ会議で接続

- 入院患者等の食料
- 被災病院（共済病院）への燃料供給依頼
- 遺体の引取り調整



市民病院やDMATからの依頼に対して対応を実施。依頼内容によっては災対課や他の部班（物流チーム・救護班）と調整を実施

2 防災訓練の取組状況



協定事業者との連携



協定事業者から平塚市民病院への給油
訓練を実施
要請手順や現地での給油場所等を確認

傷病者受入訓練



2 防災訓練の取組状況



□各部班の対応力強化の取組

■ 避難所配備職員研修

HUG（ハグ・避難所運営ゲーム）訓練

資機材取扱訓練

■ 避難班訓練

避難班本部⇔各避難所 情報収集集約訓練

■ 福祉避難所開設・運営訓練

神奈川DWAT、DMATが連携



2 防災訓練の取組状況



□各部班の対応力強化の取組

■ 物流訓練

協定事業者と連携した災害時物流実働訓練
能登半島地震の対応研修



■ 被害認定調査訓練

被害認定調査の実技研修

■ 遺体安置所研修



2 防災訓練の取組状況



□各部班の対応力強化の取組

■ 仮設トイレ運搬訓練



■ 応急給水訓練

非常用貯水タンクからの給水訓練



■ 災害ボランティアセンター設置訓練



2 防災訓練の取組状況



(2) 市民向け訓練の取組状況

■平塚市総合防災訓練（消防・防災フェア／地震対応訓練）

過去の災害の教訓を踏まえた実践型の「地震対応訓練」と市民参加体験型防火・防災啓発イベント「消防・防災フェア」を実施し、自助・共助・公助の連携を強化すると共に、市民の防火・防災への意識の高揚を図り災害に強いまちづくりを推進

○日 時：令和6年10月26日（土）午前10時から午後2時30分

○参加団体：延べ51団体

消防・防災フェア

41団体

地震対応訓練（防災関係機関）

12団体（うち消防・防災フェア参加6団体）

飲食店販売（キッチンカー）

4団体

○参加者数：約3,000人



2 防災訓練の取組状況



□令和6年度平塚市津波対策訓練（津波避難訓練・避難所開設訓練）

港地区自治会連絡協議会を対象に津波発生時の適切な避難行動及びその後の避難生活のための避難所開設訓練を実施

●津波避難訓練

実際に避難場所までの避難行動を実施

●避難所開設訓練

訓練内容：段ボールベッド、間仕切りテント、トイレ類、ペット関係、給水車受援、組み立て式簡易水槽、地震体験車



2 防災訓練の取組状況



□市民向け訓練

自主防災組織や市内事業所、学校に職員が出向し資機材の取扱い訓練や図上訓練、ハザードマップの取扱いについての説明を実施

自主防災組織257組織、市内事業所21事業所、市内学校28校に対して実施(令和7年2月時点)



2 防災訓練の取組状況



□女性防災コミュニティ講座

男女共同参画の視点に立った避難所づくり・運営が実施できるようにすることを目的として、市職員による男女共同参画の視点で考える避難所運営の講話や女性防災クラブ平塚パワーズによる身近なもので作る防災グッズ・応急手当の実演を実施



□防災教育の推進

児童、生徒が防災に深い興味・関心を持ってもらうほか、防災訓練や防災イベントへの参加など地域社会との関わりを持つきっかけ作りのため、日頃実災害に対応している職員による防災講話や避難所資機材取扱いなど体験型防災講座を実施



3 その他の取組状況



(1) 防災協定の締結

- 災害時物資に関する地域内輸送拠点の確保

 - ・ 平果地方卸売市場

- ドローン

- 燃料等の供給

- 井戸水・生活用水の供給

 - ・ 平塚信用金庫 ・ 下田商会 ・ 東京電力パワーグリッド株式会社

(2) 災害時協力井戸登録制度の新設

- 共助による生活用水の確保

(3) 個別避難計画の作成促進

- 優先度の高い避難行動要支援者から作成